温室効果ガス排出量 検証報告書

2026 年 9 月 2 日

カゴメ 株式会社　御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者　前田 雅彦

1．検証の対象及び目的

カゴメ株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象※1 における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2025 年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の 2025 年（2025 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日まで）の以下の GHG 排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1)スコープ 1 GHG 排出量

・算定対象における天然ガス（LNG を含む）、都市ガス、LP ガス、A 重油、軽油、灯油、ガソリンの使用に伴って直接的に排出される CO_2 排出量、並びに非エネルギー起源直接排出量（液化炭酸ガス、施肥・圃場廃棄）※2

・フロン類漏洩に伴って排出される GHG 排出量※2

2)スコープ 2 GHG 排出量

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出される CO_2 排出量

3)スコープ 3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ 3 カテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9, 11, 12, 13, 15※3 において排出される CO_2 排出量

検証の目的は、事業者の GHG 排出量情報が算定方法※4 に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成し GHG 排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載された GHG 排出量情報に対する結論を表明することにある。

2．検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases - Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements) の要求事項に従って GHG 排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載の GHG 排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、排出量算定システム、及び、関連資料の確認を事業者の本社訪問を含め実施
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- 上野工場への訪問による算定対象、データ収集手順確認、供給されたエネルギーのモニタリングポイントの現場視察、及び、Kagome Farms Australia Pty Ltd.へチェックリスト（質問票）を提出し、その回答、及び、根拠資料の入手により算定データ、データ収集手順確認
- GHG 排出量情報の正確性を確認するためにサンプリングによる根拠となる資料の確認

3．検証の結論

算定報告書に記載された 2025 年の GHG 排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

・スコープ 1,2

算定対象※1	検証された温室効果ガス排出量（t-CO_2e）	
	スコープ 1	スコープ 2※5
那須工場	**8,541**	**0**
富士見工場	**2,057**	**25**
小牧工場	**2,221**	**706**
茨城工場	**1,954**	**616**
小坂井工場	**1,307**	**2**
上野工場	**717**	**0**
カゴメ㈱　営業・オフィス（計 21 サイト）	**841**	**506**
KAGOME FOODS PORTUGAL, S.A.	**13,732**	**0**
Fomento da Industria do Tomate, S.A.	**8,644**	**0**
Kagome Foods Australia Pty Ltd.	**17,227**	**8,312**
Kagome Farms Australia Pty Ltd.	**1,559**	**9**※6
Kagome Inc. (USA)	**2,257**	**20**
Kagome Foods, Inc.	**2,522**	**0**
Vegitalia S.p.A	**1,319**	**888**
Taiwan Kagome Co., Ltd.	**1,131**	**1,921**
Ingomar Packing Company, LLC	**89,539**	**3,118**
響灘菜園㈱	**5,486**	**465**
いわき小名浜菜園㈱	**8,286**	**121**
㈱八ヶ岳みらい菜園	**2,608**	**77**

NOTE:

次頁参照

・スコープ 3

スコープ 3	検証された温室効果ガス排出量（t-CO_2e）	算定対象※1
カテゴリ 1	**327,938**	カゴメ㈱、菜園
カテゴリ 2	**14,599**	カゴメ㈱及び国内連結子会社
カテゴリ 3	**11,454**	カゴメ㈱、菜園
カテゴリ 4	**85,494**	カゴメ㈱、菜園※7
カテゴリ 5	**849**	カゴメ㈱※8、菜園
カテゴリ 6	**366**	カゴメ㈱及び国内連結子会社
カテゴリ 7	**1,248**	カゴメ㈱及び国内連結子会社
カテゴリ 9	**82,782**	カゴメ㈱、カゴメアグリフレッシュ㈱
カテゴリ 11	**12,991**	カゴメ㈱、カゴメアグリフレッシュ㈱
カテゴリ 12	**12,659**	カゴメ㈱、カゴメアグリフレッシュ㈱
カテゴリ 13	**54**	カゴメアクシス㈱
カテゴリ 15	**3,788**	持分法適用関連会社（世羅菜園㈱）

NOTE:

※1：算定対象は上記スコープ 1,2、及び、スコープ 3 の表を参照
- カゴメ㈱：那須工場、富士見工場、小牧工場、茨城工場、小坂井工場、上野工場、営業・オフィス（21 サイト）
- 菜園：響灘菜園㈱、いわき小名浜菜園㈱、㈱八ヶ岳みらい菜園

※2：液化炭酸ガスは菜園での農作物成長促進用途を対象とし、施肥・圃場廃棄は Kagome Farms Australia Pty Ltd. のみを対象とし、フロン類の漏洩はカゴメ㈱のみを対象

※3：スコープ 3 の各カテゴリの概要
- ❍ カテゴリ 1（購入した製品・サービス）：購入した主な製品の原料及び容器包装等を対象
  ※4 に記載の原単位に加え、サプライヤーから入手した一次データを使用し算定
- ❍ カテゴリ 2（資本財）：設備投資の固定資産を対象
- ❍ カテゴリ 3（スコープ 1, 2 に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）：使用した燃料、電力、熱を対象
- ❍ カテゴリ 4（輸送、配送（上流））：海外・国内陸上輸送、海上輸送、及び国内の流通倉庫における保管を対象
- ❍ カテゴリ 5（事業から出る廃棄物）：算定対象から出る産業廃棄物を対象
- ❍ カテゴリ 6（出張）：従業員の公共交通機関利用による出張を対象
- ❍ カテゴリ 7（雇用者の通勤）：従業員の所属拠点への通勤を対象
- ❍ カテゴリ 9（輸送、配送（下流））：流通者物流拠点から店舗までの陸上輸送、輸出品の海上輸送、及び、国内の流通倉庫、店舗における保管を対象
- ❍ カテゴリ 11（販売した製品の使用）：算定対象※1 が販売した家庭用・業務用製品の加熱調理または冷蔵保管（カテゴリ 10（中間製品の加工）を含む）を対象
- ❍ カテゴリ 12（販売した製品の廃棄）：算定対象※1 が販売した製品の梱包資材（プラスチック、紙、金属、ガラス陶磁器）及び未利用製品の廃棄を対象
- ❍ カテゴリ 13（リース資産（下流））：土地・建物等のリース物件を対象（カゴメアクシス㈱が管理するカゴメグループの国内の不動産物件を対象）
- ❍ カテゴリ 15（投資）：持分法適用関連会社（世羅菜園㈱）のスコープ 1, 2 を対象

※4：スコープ 1, 2, 3 の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.8）」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（ver.3.6）」、「国立研究開発法人産業技術総合研究所 IDEA Ver.3.5.1（IPCC 2021 with LULUCF AR6）」、「Ademe Base Carbone V23.2.1」、「ecoinvent v3.12」、及び事業者が作成した「算定手順書・算定報告書（スコープ 1,2,3）」

※5：スコープ 2（マーケット基準）の排出係数

・電力の排出係数（国内）：電気事業者・メニュー別基礎排出係数、及び事業者が調達した非化石証書を使用

・電力の排出係数（海外）：政府機関や契約電気事業者が提供する固有排出係数（調整後排出係数を含む）、及び現地法人が調達した再生可能エネルギー電力証書（RECs、GOs）を使用

・熱の排出係数（国内）：熱供給事業者別排出係数の基礎排出係数を使用

※6：2024 年の電力支払総額と概算単価から電力使用量を推計し、2025 年の作付面積比に応じて按分・算定

※7：菜園は出荷物流側のみ対象

※8：営業・オフィスとしては総合研究所のみ対象